

Title	著訳者紹介
Author(s)	聖学院大学総合研究所
Citation	聖学院大学総合研究所紀要, No.29, 2004.3 : 3-7
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=4149
Rights	



聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository and academic archiVE

〔著 訳 者 紹 介〕

(掲載順)

阿久戸光晴 あくど・みつはる

1951年東京都生まれ。1973年一橋大学社会学部卒。75年同大学法学部卒。同年住友化学工業株式会社入社。1985～90年、学校法人聖学院理事長秘書。1990年東京神学大学神学修士課程修了。キリスト教社会倫理学専攻。1990～95年聖学院アトランタ国際学校事務局長兼聖書科教諭。その間、1990～95年ジョージア州エモリー大学大学院にて「教会と国家の関係論」を学ぶ。1993～94年同州ジョージア大学大学院にて、アメリカ憲法修正条項を研究。1995年より現在、聖学院大学政治経済学部教授、大学宗教主任(2003年3月31日まで)。2000年より副学長、2003年7月より学長代行。2003年12月1日付で学長。学校法人聖学院理事、米国法人聖学院アトランタ国際学校理事。日本基督教団滝野川教会協力牧師、キリスト教文化学会理事長、上尾市情報公開・個人情報保護運営審議会会長。

〔著書〕『新しき生』、『近代デモクラシー思想の根源——「人権の淵源」および「教会と国家の関係」の歴史的考察』(以上聖学院ゼネラルサービス)、『ヴェーバー・トレルチ・イエリネック』(共著・聖学院大学出版会)。

有 賀 貞 あるが・ただし

1931年東京生まれ。東京大学教養学部卒。一橋大学教授、獨協大学教授を経て、現在、聖学院大学アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科教授。聖学院大学総合研究所日本アングロアメリカ研究センター副センター長。

〔著書〕『アメリカ政治史』、『アメリカ史概論』、『アメリカ革命』ほか多数。

大木 英夫 おおき・ひでお

1928年生まれ。1956年東京神学大学大学院卒。1960年ユニオン神学大学(ニューヨーク)ドクターコース卒。神学博士。組織神学・社会倫理学専攻。元東京神学大学学長。東京神学大学名誉教授。現在、聖学院大学大学院教授。学校法人聖学院院長・理事長。聖学院大学総合研究所長。

〔著書〕『ブルンナー 人と思想』(日本基督教団出版部、1962年)、『ピューリタニズムの倫理思想』(新教出版社、1966年)、『ピューリタン——近代化の精神構造』(中央公論社、1968年)、『終末論的考察』(中央公論社、1970年)、『終末論』(紀伊國屋書店、1972年)、『現代人のユダ

ヤ人化—現代文明論集』(白水社, 1976年), 『キリスト入門』(ヨルダン社, 1976年), 『歴史神学と社会倫理』(ヨルダン社, 1979年), 『偶然性と宗教』(ヨルダン社, 1981年), 『バルト』(講談社, 1984年), 『日本の神学』(共著, ヨルダン社, 1989年), 『主の祈り』(聖学院大学出版会, 1990年), 『新しい共同体の倫理学 基礎編』(上・下, 教文館, 1994年), 『日本は変わるか—戦後日本の終末論的考察』(共著, 教文館, 1996年), 『ローマ人への手紙—現代へのメッセージ』(教文館, 1998年), 『宇魂和才の説—21世紀の教育理念』(聖学院大学出版会, 1999年), 『時の徴—第三ミレニアムとグローバリゼーション』(教文館, 2000年), 『組織神学序説—プロレゴメナとしての聖書論』(教文館, 2003年), その他。

シュー土戸ポール Paul Tsuchido Shew

1969年生まれ。1988年ロータリー留学生として仙台育英高校卒業。1989年米国オハイオ州ミドルタウン高校卒業。1992～1993年早稲田大学国際部留学。1994年アラム大学卒業(B. A. 日本研究)。1997年ハーバード大学大学院修士課程修了(M. Div.)。1997年よりフラー神学大学博士課程において東アジア近代キリスト教史の研究を行なう。2003年6月同神学大学院Ph. D. 取得。現在, 聖学院大学総合研究所専任講師。合同メソジスト教会牧師。Website: Paul.Shew.com

田中 久文 たなか・ひさふみ

1952年生まれ。1976年東京大学文学部倫理学科卒。1983年東京大学人文科学研究科倫理学専攻博士課程修了。現在, 日本大学教授。

〔著書〕『九鬼周造』(ベリかん社), 『日本の「哲学」を読み解く』(ちくま新書), 『九鬼周造エッセンス』(編著, こぶし書房), 『甦る和辻哲郎』(編著, ナカニシヤ出版)。

佐藤 圭一 さとう・けいいち

1955年生まれ。国士舘大学教授。アメリカ政治史専攻。

〔主要著書〕『米国政教関係の諸相』(成文堂, 平成14年度「田上穰治賞」受賞・比較憲法学会), 『アメリカ研究概説』(共著, 国士舘大学政経学会編), 『法と正義』(共著, 比較憲法学会)など。〔主要論文〕「アメリカにおける政教分離原則の史的展開」(『比較憲法学研究』), 「アメリカ合衆国憲法『宗教条項』とアコモデーションイズムの昂揚」(『比較憲法学研究』), 「多文化社会アメリカにおけるキリスト教右翼」(『国士舘大学政経論叢』)など。

相澤 一 あいざわ・はじめ

1967年生まれ。国際基督教大学教養学部卒。東京神学大学大学院修士課程修了。ニューヨーク・ユニオン神学校S. T. M. コース修了。関東学院中学・高等学校聖書科教諭を経て、現在、聖学院大学特任講師。

〔論文〕「パウル・ティリッヒの『宗教史の神学』——その諸相と変遷」(東京神学大学神学会『神学』56号, 1994年), 「ティリッヒ神学における人格神の概念」(組織神学研究所編『パウル・ティリッヒ研究』聖学院大学出版会, 1999年)。

〔訳書〕パウル・ティリッヒ『宗教の未来』(共訳, 聖学院大学出版会, 1999年)。

大澤 麦 おおさわ・むぎ

1963年生まれ。慶應義塾大学法学部政治学科卒。明治学院大学大学院法学研究科博士課程後期課程修了。法学博士。現在、聖学院大学総合研究所助教授。

〔著書〕『自然権としてのプロパティ——イングランド革命における急進主義政治思想の展開』(成文堂, 1995年), 『イギリス・デモクラシーの擁護者A・D・リンゼイ——その人と思想』(共著, 聖学院大学出版会, 1998年)。

〔訳書〕『デモクラシーにおける討論の生誕——ピューリタン革命におけるパトニー討論』(共訳, 聖学院大学出版会, 1999年)。

川添 美央子 かわぞえ・みおこ

1970年生まれ。聖学院大学政治経済学部コミュニティ政策学科専任講師。政治思想史専攻。

〔論文〕「自由意志論争におけるホッブズの二つの視座」『法学政治学論及』第40号(1999年春季号), 「政治思想における自由意志の問題」『法学政治学論及』第45号(2000年夏季号), 「ホッブズの唯名論に関する予備的考察」『法学研究』(慶應義塾大学)74巻第10号(2001年)。

野呂 有子 のろ・ゆうこ

1951年生まれ。1975年東京教育大学(現・筑波大学)文学部文学科英語学英文学専攻卒。1977年同大学大学院文学研究科修士課程修了。東京成徳大学教授を経て、現在、日本大学文理学部教授。

〔主要著書〕『C・S・ルイス〈ナルニア国年代記〉読本』(共著, 国研出版, 1988年), 『イギリス革命におけるミルトンとバニヤン』(共著, 御茶の水書房, 1991年), 『ミルトンとその光芒』(共著, 金星堂, 1992年), 『十七世紀と英国文化』(共著, 金星堂, 1995年), 『神, 男, そして

女——ミルトンの「失樂園」を読む』(共著, 英宝社, 1997年), 『西洋の日本発見——OEDに見られる日本語——』第一集～七集(共著, 東京成徳英語研究会, 1995～1998年)ほか。

[主要訳書] ウォルター・フーパー『C・S・ルイス文学案内事典』(共訳, 彩流社, 1988年), ニール・フォーサイス『古代悪魔学——サタンと闘争神話』(監訳, 法政大学出版局, 2001年), ジョン・ロック『パウロ書簡注解』(共訳, 『聖学院大学総合研究所紀要』, 1998年～), ジョン・ミルトン『イングランド国民のための第一弁護論および第二弁護論』(共訳, 聖学院大学出版会, 2003年)ほか。

松谷 好明 まつたに・よしあき

1944年福島県生まれ。一橋大学社会学部卒。1970年神戸改革派神学校に学んだ後(3年中退), 英国トリニティ・カレッジ・ブリストル神学校ならびにブリストル大学大学院(Dip.Th.)に学ぶ。現在, 聖学院大学総合研究所特任助教授(ピューリタニズム研究室長)。

[著書] 『ウェストミンスター神学会議の成立』, 『ウェストミンスター神学会議議事録抄』, 『ウェストミンスター神学会議——その構造化』(いずれも, 一麦出版社)。

[訳書] トマス・ブラウン『スコットランドにおける教会と国家』, 『ウェストミンスター信仰告白と今日の教会』(いずれも, すぐ書房), 『ウェストミンスター信仰規準』(一麦出版社), ポール・ヘルム『カルヴァンとカルヴァン主義者たち』(聖学院大学出版会), ウィリアム・ステイル『牧師の仕事』(いのちのことば社), トム・ウィルキンソン『ウェストミンスター信仰告白注解』(一麦出版社)。

クリストフ・シュベール Prof. Dr. Christoph Schwöbel

Professor für Dogmatik und Ökumenische Theologie/Direktor des Ökumenischen Instituts der Ruprecht-Karls-Universität Heidelberg.

Dr.theol. 1978 in Marburg; Habil. für Systematische Theologie in Marburg 1990; Lecturer in Systematic Theology und Director des Research Institute in Systematic Theology, King's College, Universität London 1986-1993; Universitätsprofessor für Systematische Theologie in Kiel 1993-1999 und Heidelberg seit 1999.

[著書] Martin Rade. Das Verhältnis von Geschichte, Religion und Moral als Grundproblem seiner Theologie, Gütersloh 1980., Karl Barth-Martin Rade. Ein Briefwechsel. Mit einer Einleitung hrsg. v. Chr. Schwöbel, Gütersloh 1981., Persons, Divine and Human, Edinburgh 1991 (zus. hrsg. m. Colin Gunton), God: Action and Revelation, Kampen 1992., Trinitarian Theology Today, Edinburgh 1995.

平 修久 たいら・のぶひさ

1955年生まれ。コーネル大学博士課程修了。Ph. D. (都市及び地域計画学)。富士総合研究所を経て、現在、聖学院大学政治経済学部コミュニティ政策学科教授。聖学院大学大学院政治政策学研究科教授。

〔著書〕『世界都市の成長と基盤整備 ニューヨーク・ロンドン・パリ』(共著)、『東京はこう変わる』(共著)、『成熟都市東京のゆくえ』(共著)。

〔論文〕「首都機能移転の経済的費用便益分析」(『応用地域学研究』第3号)、「アメリカのリンケージ施策の分類に関する一考察」(『都市住宅学』第23号)ほか。

藤原 淳賀 ふじわら・あつよし

東京基督教大学専任講師を経て、2004年4月より聖学院大学総合研究所助教授に就任予定。神学博士 (University of Durham, 英国)。キリスト教神学, 倫理学専攻。

ディーン・W・サザデン Dean W. Sotherden

1960年生まれ。1982年オハイオ大学卒。テンブル大学にてM. Ed.取得。現在、聖学院大学総合研究所専任講師。SLI副所長。

〔論文〕A Literature Review of Motivation and Second Language Acquisition, Unraveling the Mystery of Motivation in EFL Education, An Introduction to Some Important Writings Relevant to EFL and ESL Education, The Role Of Discourse Analysis In EFL Education, The Japanese Identity Crisis: Friend Or Foe Of English Language Teachers? (Bulletin of Seigakuin University General Research Institute, No.21, 2001), Is Learning English Truly Advantageous For the Japanese? (Bulletin of Seigakuin University General Research Institute, No.22, 2001), Cross-Cultural Education And Intercultural Communication (Bulletin of Seigakuin University General Research Institute, No.23, 2001), The Art Of Teaching English As A Foreign Language In Elementary School (Bulletin of Seigakuin University General Research Institute, No.24, 2002), Creating An Environment That Is Conducive To Learning (Bulletin of Seigakuin University General Research Institute, No.25, 2002), Demystifying Learning (Bulletin of Seigakuin University General Research Institute, No.26, 2002), Teaching Listening In EFL Classes (Bulletin of Seigakuin University General Research Institute, No.27, 2003).